

歌壇

鈴木 芳明 選

特選

由比の海雲間の光に輝きて舟ひとつ抱く菩薩のごとく

千駄木 伊藤 惠津子

新年の空を翔け抜くペガサスの雲に出会って佳き年祈る

水道 菅井 茂子

鼠坂登りて下る鷺坂と江戸の名残りの音羽小日向

小日向 内野 仙也

入選

ほのぼのと明けゆく空をおろがめば老いの独り居清しくもあり

千 石 小出 風沙子

父母は良き聴き手黙して語らず大樹のごとき墓石はおおきに水はうつ

千 石 菊地 正矩

二年振りの風邪ようやくやくに治りきてまず図書館へ道を楽しむ

向 丘 高野 伸子

木綿糸にて毛布の襟を縫ひつける母のまねして糊をきかせて

本駒込 唐木 よし子

見てごらん月が一緒に歩いてる我が懐で子供指さす

関 口 中川 良二

ライン越し脳裏に沸きたつ蜃気楼カイロの喧騒砂漠の景色

大 塚 江崎 千絵

見上げれば冬の春日に霞無し地下鉄走る銀河煌めく

春 日 中野 成将

平成30年度 第4回 ぶんきょう歌壇・俳壇 作品発表

俳壇

佐怒賀 正美 選

特選

難病の友へ吹き込む読始よみはじめ

千石 菊地 正矩

砂を搔く猫に起こされ寒満月かんまんげつ

小日向 内野 仙也

初日記書かねば消ゆる老いの日々

千石 大石 坦

入選

去年今年こぞことしフオツサマガナの微動かな

向丘 丸岡 正兎

ハロウインの南瓜流るる神田川

向丘 高野 伸子

品格の退位を惜しむ参賀かな

春日 二村 吉光

手袋や書庫に明るき遺失物

向丘 片岡 マサ

神官の訛なつかし煤払

小石川 中野 千鶴子

冬晴れのスカイツリーよ昼満月

西片 中島 多津子

風音を靴に聞かせて冬の庭

千石 片山 幸則